

パブリックコメント意見募集の結果公表

第3期帯広市子ども・子育て支援事業計画（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と帯広市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等もふまえ、第3期帯広市子ども・子育て支援事業計画（案）を次のとおり策定することとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	第3期帯広市子ども・子育て支援事業計画（原案）		
募 集 期 間	令和6年11月27日（水）～令和6年12月26日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	22件（7人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	4件
	その他	意見として伺ったもの	18件
意 見 の 受 け 取 り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール（電子申請 HARP）		7人

【意見等の内容】

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
1	支援センターを活用していますが、何を相談して良いのかわからなかったり、先生との信頼関係を築くまで相談できなかったりするので、気軽に相談できる機会を提供してほしい。また、支援センターは最初の一行がいきにくいので強制的な月齢講座とかで行きやすさのハードルを下げしてほしい。	1	【その他】 地域子育て支援センターでは、個々の相談を受けるほか、育児講座を開催しております。講座内容を離乳食や睡眠など、お子さまの年齢に合わせたテーマとするなど、参加しやすい工夫もしております。今後も、子育て家庭が気軽に交流や相談ができる環境づくりに努めてまいります。

次のページへ>>

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
2	一時保育事業について、利用枠の拡大、予約方法および利用料などについて改善してほしい。	4	【その他】 帯広市では、一時保育事業を認可保育所3か所で開催しており、アンケート調査結果から算出したニーズに対応できるよう、引き続き職員体制の確保に努めてまいります。 予約方法については、現状の課題を把握し、利用しやすい手法がないか検討してまいります。 利用料については、事業を継続するために必要な財源と考えていることから、利用される方に一定程度の負担をお願いしております。
3	一時保育事業のキャンセル待ちが多く十分に利用できないため、こどもを預ける施設として地域子育て支援センターを増やしてほしい。	1	【その他】 地域子育て支援センターは、親同士の交流や情報交換の場であるほか、子育てに関する相談などをお受けする施設であります。今後も、こどもを預けたいというお気持ちに寄り添いながら、子育て家庭が気軽に交流や相談ができる環境づくりに努めてまいります。
4	産後ケア事業は、生後4か月以降使えないこと、使うまでに毎回面談が必要なこと、ショートケアには助成がないことは改善してほしい。	1	【その他】 帯広市では、産後ケア事業を平成29年度に開始してからこれまで、利用者の現状や母子保健法の改正を踏まえ、利用期間や利用施設等の拡大を図ってきております。 事業内容については、利用後のアンケートや社会資源の状況など地域の実情を踏まえたうえで検討していく必要があると考えており、今後も、利用しやすい事業となるよう、充実に努めてまいります。
5	産後ケア事業が新たな枠組みで新設されるのか。	1	【その他】 産後ケア事業は、令和6年の子ども・子育て支援法の改正により、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制の更なる充実を図るため、「地域子ども・子育て支援事業」に新たに位置付けられたものです。

次のページへ>>

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
6	産後ケア事業で、親が困っていることの見極めと対応策と一緒に考えてくれる支援をしてほしい。	1	【その他】 産後ケア事業では、育児の不安や悩み等の軽減や、産後うつ予防のために、個々の状況を把握しながら関係機関と連携を図り、利用につなげております。 母子に対する心身のケアや育児のサポート等により、産後も安心して子育てができるよう、今後も対象者に寄り添った支援に努めてまいります。
7	第一子への手当、支援を増やしてほしい。	1	【その他】 帯広市ではこれまで、こども医療費助成や児童手当の拡充、ひとり親家庭への支援など行ってきました。今後も限られた財源を有効に活用しながら子育て施策に取り組んでまいります。
8	保健福祉センターの相談窓口は、プレイルームと違う場所にあるため、子連れでも利用しやすくしてほしい。	1	【その他】 保健福祉センターでは、個々の状況に合わせて、来所や電話、訪問により妊娠・出産・育児に関する相談に対応しております。プレイルームでも相談は可能なため、職員にお声かけください。
9	母の気分転換で離乳食を外で食べさせたいが、そういう場所が足りないので増やしてほしい。	1	【その他】 各地域子育て支援センターでは、昼食の時間を設け、親子で食事を楽しむことができるほか、各ご家庭の離乳食の情報交換の場にもなっております。
10	母が休める場所を増やしてほしい。	1	【参考】 保健福祉センターや地域子育て支援センターなどの公的施設の充実に加え、民間事業者による子どもと過ごせる場の拡大など、協力依頼に努めてまいります。
11	日曜日に開放している遊び場を増やしてほしい。	1	【その他】 地域子育て支援センターでは、日曜ファミリーデーやパパ広場の実施により、日曜日の遊び場の提供しております。今後も、子育て家庭のニーズに沿った環境づくりに取り組んでまいります。

次のページへ>>

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
12	パパママ教室で、赤ちゃんを迎えるための心の準備や抱っこの仕方を学べる講座を開催してほしい。 パパママだけではなく、支援者の方も受講できるような勉強体制を整えてほしい。	1	【その他】 帯広市では、初妊婦及び夫を対象に、専門職による講話や実技を通し、妊娠・出産・育児に関する具体的な知識を学び、赤ちゃんを迎えるイメージがつくことを目的に「ほんわかファミリー教室」を実施しております。 教室では、妊娠・子育て期における世帯の現状や地域の実情などを総合的に捉えたうえで、必要となる育児の手技や心構えが学べる内容となるよう、専門職等支援者の技術向上を含め、充実を図ってきております。 引き続き、市民の声も参考としながら、妊娠期にある世帯が安心して赤ちゃんを迎えることができるよう、教室内容の充実に努めてまいります。
13	こども計画策定のビジョンを教えてほしい。 子どもの権利の実現にどう関与していくのか、子どもの声を活かすまちづくり、子ども支援となっていてほしい。	1	【その他】 こども基本法が施行され、法においてこども大綱を勘案して市町村こども計画を定めるよう努めるものとされていることから、令和6年度末に策定される予定の北海道こども計画も踏まえ、帯広市においても検討してまいります。
14	利用者支援事業のこども家庭センター型はこれまでとどのように変わるか。	1	【その他】 こども家庭センター型は、母子保健と児童福祉の両機能が一体として、子育て家庭に対する相談支援等を実施し、切れ目なく、漏れなく対応していくものになります。
15	新規調整中の事業概要に関する意見はどのタイミングで聴取の予定か。	1	【参考】 調整中としていた新たに地域子ども・子育て支援事業に位置付けられた3事業については、国から示された考え方に基づき、数値を精査し計画に反映しております。今後、パブリックコメントを実施する予定はありませんが、様々な機会を通じて、ご意見をいただきたいと考えております。
16	子育てにやさしいまちづくりを進めていくため、あらゆる場で親支援が受けられるように、今後 NPO との協働についても柔軟に対応してほしい。	1	【参考】 出産や子育てへの不安や悩みを抱えるご家庭に対しては、地域全体で支えていく必要がありますので、関係機関と連携しながら対策を講じていきたいと考えております。

次のページへ>>

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
17	家庭で問題が発生する以前の予防、予見の視点から、日常的な居場所やひろばを通じた相談や見守りの機能を検討してほしい。	1	【その他】 養育環境等に課題を抱える子育て家庭については、保育所・幼稚園や学校等と連携しながら、当該家庭を把握し、虐待等の予防を行ってきております。 また、学齢期の児童に対して、虐待を防止し、児童の健全な育成を図ることを目的とした「児童育成支援拠点事業」の実施を検討しております。事業実施に向け、他自治体の取組事例の調査ほか、学習支援や食事の提供などを運営している事業者からの意見も聴取しながら、内容を検討していきたいと考えております。
18	発達の遅れなど、困り感を抱える保護者の対応増加に関して、新たな施策の充実はあるか。	1	【参考】 帯広市では、3歳児健診以降、必要に応じて保健師による継続支援を行うほか、発達に心配や障害のある児童に関する相談窓口である「こども発達相談室」において相談対応を行い、発達に課題のある児の早期発見や保護者の不安や心配の軽減に努めております。 また、今後も、ご家族の困り感が強い場合やお子さんに対する具体的な支援方法が必要な場合は「発達検査」を行い、お子さんの得意なところや、苦手なところを把握し、関わり方をご家族と一緒に考えてまいります。
19	人口増加にもつながるため、保育料を完全無償化にし、保育士の賃上げもしてほしい。	1	【その他】 現時点では、帯広市独自の保育料完全無償化の予定はありませんが、子育て世帯に対する様々な支援について引き続き検討してまいります。また、保育士確保策も重要な課題であることから、今後も、国の補助を活用しながら保育士の処遇改善に努めてまいります。

【案件の最終案】

別紙のとおり